

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	20 ーデザインー 2
-----------------	-------------

平成 20 年度配分 研究成果の概要

研究名	静岡文化芸術大学大学院における建築職能確立と広報研究				
配分を受けた特別研究費	デザイン研究科長		特別研究費	2,100 千円	
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン研究科	デザイン専攻	教授	寒竹伸一	
共同研究者					
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 年 号 (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法: ネット上等での公開		発表日 (発表 予定日)	平成 21 年 11 月 11 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

現在建築界において、大学院修士課程が実務経験として認定されるか否かという大事な議論が始まろうとしている。また、当大学院においては東京、名古屋の他大学の大学院への学部生の流出が始まっている。当大学院が社会にとっても、学部生に対しても魅力ある建築系大学院として成長していくためには、どのように実務的経験を取り入れ、そして、その当大学院の特徴を広く発信する方法の確立を研究の目的とする。

(研究の実施方法等)

建築行為における設計競技に対する能力や、建築確認申請業務、実施設計業務、積算知識、工事監理に関する能力を修士課程2年の期間でどのように取得することができるのか実際の建築業務について、講義、演習トレーニングを行ない、最適な手法を確立する。そして、その手法を研究室ホームページにビジュアルに編集し、ネット上にて公開する。

(得られた成果等)

本大学院が目的としている設計企画能力と実務能力を兼ね備えた修士生を育てあげて社会に送り出すことができ、修士修了生にとっても就職時に他の大学院の修士修了生よりも優位な特徴をもつことができた。
他大学の学部生への本大学院のアピールが可能となり、本学からの優秀な学部生の本大学院への進学もふえている。